

# 令和2年度

## 鹿児島県立図書館運営に関する点検及び評価結果

当館が策定している基本的運営方針を踏まえ、令和2年度に重点的に取り組んだ事項と関連する指標についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図ります。

### 【鹿児島県立図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し、成長し続ける図書館 ～支える・役立つ・つなぐ・育む～

### 【基本目標、重点取組事項】

#### <基本目標1>

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 市町村図書館支援の充実
- 2 ネットワークの構築
- 3 図書館運営研究の拠点
- 4 図書館協議会等の充実

#### <基本目標2>

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 利用者に対応したサービスの充実
- 2 課題解決支援・学習支援の充実
- 3 郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化
- 4 図書館資料の計画的な整備

#### <基本目標3>

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 場と人をつなぐ環境づくり
- 2 人と人をつなぐ環境づくり
- 3 情報と人をつなぐ環境づくり

#### <基本目標4>

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 子供読書活動の推進
- 2 大人読書活動の推進
- 3 郷土の人・文化の理解と継承

### 【評価基準】

評価	内 容
A	非常に良好 : 計画どおりに実施でき、大きな成果がみられた。
B	良好 : 計画どおりに実施できた。
C	やや不十分 : 概ね計画どおりに実施できたが、一部が実施できなかった。
D	不十分 : 計画どおりに実施できなかった。



## 基本目標 1 『支える』

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計 画	実 績	
1	市町村図書館支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の共有化を行うとともに連携を密にし、利用者サービスの向上を図る。</li> <li>貸出文庫により、市町村立図書館をとおして県民への圖書の貸出を行う。</li> <li>図書館ポータルサイトを活用し、相互貸借の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協会や読書推進協議会の場を活用して連携が図られた。</li> <li>児童クラブや学校への貸出があり、前年度を約2割上回る利用実績となった。</li> <li>相互貸借は昨年度とほぼ同程度の利用があった。</li> </ul>	A
2	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館（室）における利用者サービスの向上を促進する。</li> <li>図書館情報システムの適切な運用管理を行うとともに、セキュリティ対策の強化を行う。また、図書館情報システムを活用したサービスの利用促進を図るため、横断検索システムへの参加・利用促進を図るとともに、ホームページの情報更新に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県立図書館はもちろん各市町村立図書館でも休館が相次いだことにより、居住地返却が減少するなどの影響があった。</li> <li>横断検索システムの参加自治体数は目標値の32市町村に対し、令和元年度同様の31市町村であったが、声かけにより参加意向を示す自治体もあったため、参加館の設備整備・経費面の準備を注視しながら参加を働きかけていく。</li> </ul>	C
3	図書館運営研究の拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館大会や各種講座等をとおして、図書館職員の資質向上を図る。</li> <li>公立図書館（室）、学校図書館を訪問し、指導助言を行うとともに、来館研修や図書館司書実習を受け入れるなど、市町村や各種団体等の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため総合講座を中止し、県図書館大会は参加者数を制限したが、内容が好評で充実したものとなった。</li> <li>公立図書館（室）や学校図書館の優れた取組を県下へ広く紹介するとともに、地域の実態に応じた課題の解決に向けた意見交換を行った。</li> </ul>	C
4	図書館協議会等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会委員や図書館協会理事からの意見・要望を参考にし、図書館運営や利用者サービスの改善・向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会は2回開催し、図書館協会の理事会は3回行った。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、図書館協会の総会及び業務担当者会は中止とせざるを得なかった。</li> </ul>	C

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「県民一人当たりの貸出冊数」	3,38冊	3,28冊	97.0%
2	「市町村満足度」	—%	83.0%	—%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「図書館等への貸出冊数」	34,600冊	36,893冊	106.6%
2	「居住地返却の冊数」	4,500冊	3,837冊	85.3%
3	「横断検索への接続市町村数」	32市町村	31市町村	96.9%
4	「講座等への参加者数」	720人	354人	49.2%
5	「県立図書館を語る会の参加者数」	160人	35人	21.9%

### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の中止や参加者数の制限を行ったことで、図書館職員に対する研修や図書館協会理事会などが実施出来なかった。また、県民ひとり当たりの貸出冊数の目標値にもわずかながら達しなかった。そのような状況の中、貸出文庫については、前年度よりも約4,000冊（率にして約2割）増加しており、アンケートによる満足度も高かったことから、市町村への支援が一部を除き、概ね計画どおり実施されたものとする。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、研修や訪問により図書館職員の資質向上に努めるとともに、横断検索システムの参加・利用促進を図り、また、更なる圖書の貸出をすることで、市町村立図書館（室）への支援の充実を図りたい。

## 基本目標 2 『役立つ』

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	利用者に対応したサービスの充実	・閲覧・貸出など利用しやすい環境整備とともに、様々な利用者サービスの向上に努める。	・視覚障害者及び文字を読むことが困難な利用者のため、サピエ図書館及びデイジー図書が利用できるように環境整備を図った。	B
2	課題解決支援・学習支援の充実	・郷土に関する事項の件名やレファレンス事例の電算入力、パスファインダーの作成等、レファレンスツールの充実に努める。 ・課題解決支援コーナーの充実を図る。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館等の影響で、レファレンス件数が減少したため、それに伴いレファレンス事例の電算入力も減少した。パスファインダーについては3月に改訂を行った。 ・課題解決支援コーナー4分野の資料収集、配架の工夫を行い、充実を図った。	C
3	郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化	・郷土の文化遺産として永く後世に伝えていくために網羅的で積極的な郷土資料の収集を行い、そのために各関係機関との連携を図り協力を依頼する。 ・郷土資料の保存と活用のため郷土新聞や貴重資料等のデジタル化を進める。	・各機関と連携し、県行政資料や市町村発行資料など図書以外の収集も積極的に努め、郷土新聞、貴重資料のデジタル化も計画的に行った。 ・令和2年度の貴重資料デジタル化進捗率は、目標値48%を下回る約44%であった。1冊あたりのページ数が多い資料を中心に撮影したため、撮影枚数は多いが撮影資料数は少ないという結果となった。	C
4	図書館資料の計画的な整備	・利用者の生涯学習に役立つ資料を幅広く収集するとともに、海音寺潮五郎文庫や雑誌スポンサーコーナー、障害者サービス資料の充実も図りながら、県民の調査相談に資する図書館、保存図書館としての資料の整備に努める。	・購入、寄贈などによる約2万冊の図書資料の計画的な受入を行い、蔵書冊数の令和2年度目標値を超える894,136冊を達成した。 また、障害者サービスのためのデイジー図書や雑誌スポンサー制度による雑誌など、幅広い資料の収集を行った。	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「貸出＋書庫閲覧冊数」	378,000冊	353,647冊	93.6%
2	「利用者満足度」	49.0%	52.0%	106.1%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」(ユニバーサルデザイン)	—%	74.2%	—%
2	「レファレンス検索データ入力件数」	150件	105件	70.0%
3	「デジタル化進捗率」	48.0%	43.8%	91.3%
4	「蔵書冊数」	894,000冊	894,136冊	100.0%

### 3 評価と今後の取組について

障害者サービスのための資料を含め、購入、寄贈の計画的な受入を行い、図書資料の充実を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響で、貸出＋書庫閲覧冊数の目標値には到達せず、レファレンス件数や事例入力も減少となったが、一方、貸出冊数を一般・児童合わせて10冊以内の貸出にしたこともあり、利用者満足度が目標値よりも高かった。

今後も、郷土資料をはじめ利用者に役立つ資料を幅広く収集するとともに、貴重資料のデジタル化を進めながら、課題解決支援の充実を図っていききたい。

### 基本目標 3 『つなぐ』

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	場と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設等の安全管理及び保全改修に努める。</li> <li>広報誌やホームページの内容の充実を図り、積極的な情報発信に努めるとともに、県の広報誌等を活用した広報活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子トイレにベビーシートを設置し、児童文化室横のトイレ照明のLED化を行った。</li> <li>公式Facebookをスタートさせるとともに、ホームページを一部改め、内容の充実を図った。また、広報誌等を利用した広報活動・情報発信に努めた。</li> </ul>	B
2	人と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が多様な他者と交流し、図書館や図書資料を活用してコミュニケーションを楽しむことができるよう、交流イベントを開催する。</li> <li>一般県民に館内4か所の会議室を有償（減免規定あり）で貸出を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から交流イベントの実施を見送った。（令和3年12月に実施の予定）</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会議室貸出予約のキャンセルが相次ぎ、収入は元年度の約半分となった。</li> </ul>	D
3	情報と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を生涯学習の活動や成果を発表する場として活用するため、ボランティア活動を支援する。</li> <li>HPやSNSを活用した情報提供や情報交流を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ボランティア活動を制限した期間もあり、参加者は目標値よりも大きく下回った。</li> <li>公式Facebookへ最新情報を掲載することに努め、フォロワー数は目標値を上回った。</li> </ul>	C

#### 2 各種指標の達成状況

##### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「入館者数」	472,000人	328,535人	69.6%
2	「利用者満足度」	—%	56.8%	—%

##### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」（居心地の良い空間・居場所づくり）	—%	78.2	—%
2	「交流イベント参加者数」	20人	0人	0%
3	「ボランティア活動者数」	800人	456人	57.0%
4	「HPのリンク数」	5件	5件	100.0%
5	「SNSフォロワー数」	500件	527件	105.4%

#### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響で、入館者数やボランティア活動者数が目標値を下回り、交流イベントも実施できなかった。そのような状況の中、男子トイレのベビーシート設置や公式Facebookをスタートするなど、より良い環境づくりを図ることができた。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、魅力ある交流イベントの実施に努めるとともに、トイレの整備、照明のLED化等を進め、更に利用環境の充実を図っていきたい。

## 基本目標 4 『育む』

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	子供読書活動の推進	・親子読書研修会、読書活動推進スキルアップ研修会の開催し、子供読書活動の推進を図る。併せて、総合講座、学校図書館講座、県図書館大会の中で、子供読書推進についての周知を図る。	・親子読書研修会、読書活動推進スキルアップ研修会は中止としたが、各種講座や親子読書研究誌において、子供読書活動の重要性と意義、具体的な進め方について周知を図った。	C
2	大人読書活動の推進	・読書に楽しむ大人の姿の影響力を重視し、読書活動推進スキルアップ研修会のワークショップに大人向けの読書活動を取り入れる。	・読書活動推進スキルアップ研修会が中止となり、ワークショップを開催できなかったが、外部の団体への研修室貸出で大人の読書活動が推進された。	D
3	郷土の人・文化の理解と継承	・貴重資料紹介展や講演会を行い、県民の生涯学習の一助とするとともに、図書館利用の促進につなげる。また、広報活動として広報誌やホームページの充実を図り、報道機関への情報提供を行う。	・貴重資料紹介展の参加者数は、目標値1,200人に対し実績値1,689人と大きく上回る結果となった。今後も県民の郷土への興味や理解を促すような展示や講演会・広報活動を継続していく。	A

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「研修会等の参加者数」	1000人	339人	33.9%
2	「受講者満足度」	90.0%	90.4%	100.4%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「講座等の定員に対する参加者数の割合」	85.0%	44.0%	51.8%
2	「大人向けイベントの参加者数」	60人	0人	0%
3	「資料展等の参加者数」	1,200人	1,689人	140.7%

### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子読書研修会や読書活動推進スキルアップ研修会を中止し、その他の講演会や講座の定員を削減したことで、研修会等の参加者数は目標値を大きく下回り、大人への読書活動推進も図ることができなかった。しかし、館長講演会や海音寺潮五郎記念文化講演会の受講者満足度が非常に高かった。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、研修会等を実施し、読書活動の推進を図っていきたい。